

令和6年度 渋川小学校 学校だより

令和6年10月29日



かしの木 第12号



校内学習発表会 -「元気」と「感動」-

10月26日(土)、令和6年度の渋川小学校 学習発表会を実施しました。

前日の暖かさ(暑さ)がウソのように、当日は少し肌寒さを感じるスタートになりましたが、オープニングの5年生の発表で場の雰囲気がグッと変わりました。

5年生の、息がそろった迫力ある「豊年太鼓」の演奏はまさにオープニングにピッタリ! 「これから渋川小の発表会が始まるぞ」という期待感が高まりました。

「スイミー」を発表した2年生は、まるでミュージカルを観ているような感じでした。カラフルな夢のような世界。長〜い「うなぎ」が出てきたり、くらげや伊勢エビがダンスを踊ったり…。ワクワク感、そして、幸せな気持ちに包まれました。

そして、3年生の「(渋川版)水戸黄門」。

例のオープニング映像ですが、なんと、そこに出てきたのは、出演する子ども達の名前と歌声! キャストもはまり役で、チームとしてのまとまりも抜群でした。ストーリーに引き込まれ、二本松・渋川の魅力にも触れることができました。



1年生のチビッコ忍者達。会場の温かい拍手に力をもらって堂々と演じる姿が心に残りました。ジャンプや回転などの修行をこなし、最後に全員のダンスで喜びを分かち合う姿は、この半年間の大きな成長を感じさせるものでした。

4年生の心のこもった演奏も素敵でした。リコーダーの透き通った演奏。いろいろな楽器で心を一つに合わせた合奏。かっこいいダンスと最後の4年生全体での決めポーズ! 一人一人の「頑張りたいことの宣言」も良かったですね。

そして、大トリは6年生。台本づくりから、演出、舞台、道具づくり…まで自分たちで考えた発表。役になり切って、セリフ一つ一つに思いが込められていました。演技に引き込まれました。さすがは6年生!



〈渋川コミュニティ・スクール〉 -「渋川小応援歌」-

「♪ フレ～ 渋川 フレ～ 渋川 フレ フレ フレ！」

渋川小学校に代々伝わる応援歌。

今回、久しぶりに学習発表会で歌いました。

昨年度、創立150周年を迎えた渋川小。

一つの節目・区切りを迎え、151周年目の新たな一步を踏み出したところですが、これまでの伝統に思いを馳せ、改めて、学校と地域が気持ちを一つに頑張っていこうという思いを込めました。



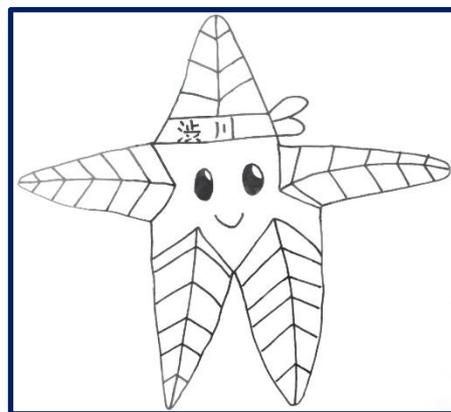
また、現在、企画委員会児童が中心となって、渋川小キャラクター作成プロジェクトを進めています。

キャラクターは、企画委員の樽井渚さん（6年生）がデザインしてくれました。

※校章がモチーフになっているようです

現在、全校生に名前を募集しているところです。

11月上旬には決定する予定です。



今後、末永く愛される渋川小のキャラクターの誕生をみんなで祝い、喜びたいと思います。

校長の独り言

最近、涙腺が弱くなり、涙もろくなってきました。ちょっとしたことで涙が出ます。

（これが「歳を重ねる」ということでしょうか…）

今回の学習発表会でも、目頭が熱くなる場面がたくさんありました。

子ども達の発表は、何度観てもグッときます。（前より上手になってる。おっ、声が出てるぞっ。動きにも自信が感じられる！…）発表会の演目決定の段階から、担任の先生と子ども達の関わり合う姿を見てきたのでなおさらです。最初は恥ずかしがって小さな声しか出せなかった子ども達が、日を追うごとに生き生きと、そして堂々と頑張る姿になっていくのですから、涙も出てきます。

発表会当日、劇の途中で、ある子が涙を流す場面がありました。（大きな不安と緊張があったのでしょうか）

涙声になりながらも、それでも、役を最後まで演じ切りました。周りの子達もみんな、目で、そして、心の中で、応援しているような気がしました。何より、会場全体が温かい雰囲気でも包み込み、優しいまなざしを注ぎながら「大丈夫、頑張れ！」と応援しているような気がしました。



本人の頑張り、そして会場全体の「一体感」に大きな感動を覚え、涙が出ました。学習発表会の醍醐味を改めて感じました。

ふと“そういえば幼き頃、「志村～、うしろ～！」と届くはずのない声を張り上げ、夢中になってテレビを観ていたなあ”と思い出しました。（昔を懐かしむ…。「歳を重ねた」ということでしょうか…）

子どもの頃の「純粋な心」を大切にしていきたいと思います。